・簡易公募型プロポーザル方式　評定表

1. 事業名　令和7年度焼岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討業務
2. 所属事務所　神通川水系砂防事務所
3. 方式　簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書提出要請日　令和7年3月21日
5. 技術提案書提出日　令和7年4月14日

評価項目				評価の着目点	評価のウェート	1		2		3		4		5	
						A社									
						評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
予定技術者の経験及び能力	管理技術者	資格・実績等	技術者資格	技術者資格等、その専門分野の内容	2	①	2.0								
			業務執行技術力	平成26年度以降公示日までの同種又は類似業務等の実績の内容	4	①	4.0								
			地域精通度	平成26年度以降公示日までの当事務所、周辺での受注実績の有無	4	①	4.0								
		成績・表彰	業務成績	北陸地整発注（港湾空港関係を除く）令和2年度～令和5年度完了した土木ｺﾝ、測量、地質の成績評定平均点	16	②	15.0								
				北陸地方整備局発注の令和3年度～6年度の土木ｺﾝの優良表彰	4	③	0.0								
	担当技術者	資格・実績等	技術者資格	技術者資格等、その専門分野の内容	2	①①	2.0								
			業務執行技術力	平成26年度以降公示日までの同種又は類似業務等の実績の内容	4	③②	1.0								
			地域精通度	平成26年度以降公示日までの当事務所、周辺での受注実績の有無	4	②③	1.0								
		成績・表彰	業務成績	北陸地整発注（港湾空港関係を除く）令和2年度～令和5年度完了した土木ｺﾝ、測量、地質の成績評定平均点	8	④③	5.5								
				北陸地方整備局発注の令和3年度～6年度の土木ｺﾝの優良表彰	2	②③	0.5								
				小計①	50		35.0								

評価項目			評価の着目点	評価のウェート	1		2		3		4		5	
					A社									
					評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	10	ABC	5.3								
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	10	ABC	5.3								
			業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10	ABC	5.3								
	その他		業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	10	ABC	5.3								
			地域の実情を正確に把握した上で、業務の円滑な実施に関する提案があった場合には評価する。	10	ABC	5.3								
			小計②	50		26.5								

評価項目		評価の着目点	評価のウェート	1		2		3		4		5	
				A社									
				評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
全体	実施方針等との技術提案全体の整合性	実施方針等との技術提案全体の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は特定しない。	20	ABC	10.7								
評価テーマ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	30	ABC	16.0								
		着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。											
		当該業務の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。											
		当該業務の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。											
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	30	ABC	16.0								
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。											
		利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。											
		提案内容によって想定される事業費が適切な場合に優位に評価する。											
	独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	20	ABC	10.7								
		周辺分野、異分野技術を採用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。											
		複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。											
		新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。											
		小計③	100		53.4								
総合計			200		114.9								

特定結果						
	技術提案の特定者	◎				
	特定時の順位	1位				